

《木津川上流の治水計画について》 No.

DATE 2014.12.2

月ヶ瀬憲章の会

浅野 隆彦

第9回ダムWG(H16.12.1)に提出された資料3-6「岩倉(57.4km)の地点の水位と流量の関係について」の水位流量曲線図なるものは、又もや、これ迄の説明と違い、不透明極まる「嘘つき資料」である。(参考資料C)

先ず、この横断面図が古いものである事に注目に載く為、(参考資料B)及び(参考資料A)と比較して貰いたい。

後の2枚は、平成15年度測量のものである。

又、住民対話集会へ配布された(B)で、HWL TP136.590水位2.940 m^3/s を示している。しかし、(C)は、2.835 m^3/s (TP136.9)である。(B)のHWL TP136.590は、TP136.9のマチガイであろうと修正したが、105 m^3/s も違っている。その上、(A)と比べ、1,300 m^3/s 付近のH9-29番とH9-31番のプロットがマチガッている。

大事なことは、現況(H15年度)の岩倉地点(57.4km)での横断面積と河底高さであり、平成6年から測量横断面図が数回にわたり変っている。そのうち何回かは河道改修の人為であろう。この事から、河道変更前の平成6年の高水位低流量にもたれかかるべきではないと、指摘する。(C)の水位流量曲線の秘密は、強く恣意的であり、これ以外の資料を持たず、綿密な検討が出来ないダムWGメンバーにとって、このような情報操作は危険極まりないものである。私のこれ迄の流域委員会への意見書No.522、No.530をお読み戴きたい。

なおかつ、「治水経済調査マニュアル(案)」(H12.5)の19~25頁、2.3.2「流下能力の把握」の部分と、26~36頁「氾濫シミュレーション」にのった「全検討結果報告書」を説明資料として請求されるようお勧めする。

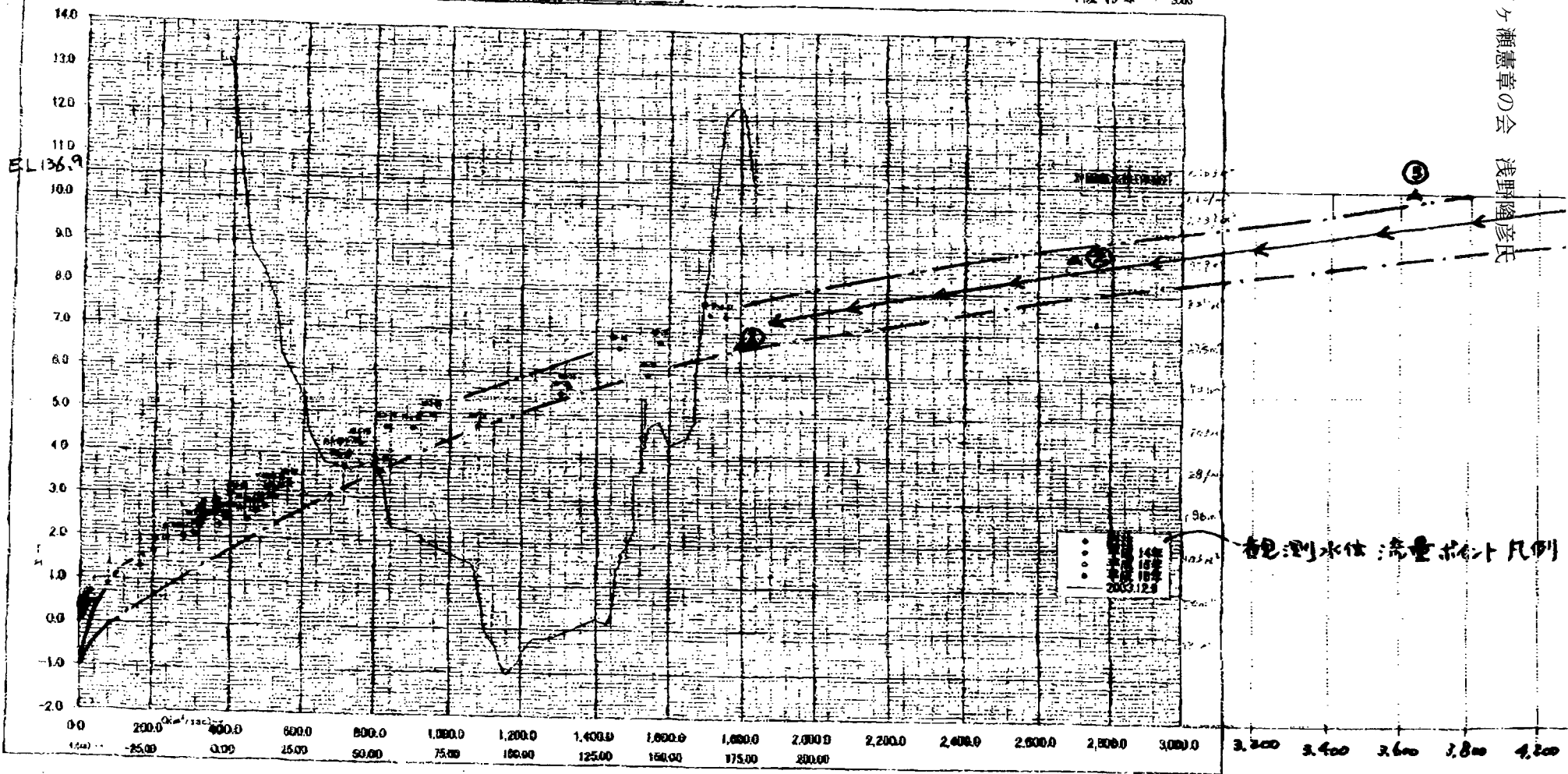
水位流量曲線図

観測所記号
2153421154211045

水系名 河川 河川名 水津川 観測所名 岩倉 観人 いわくら

(全水位)

平成 15 年 5008

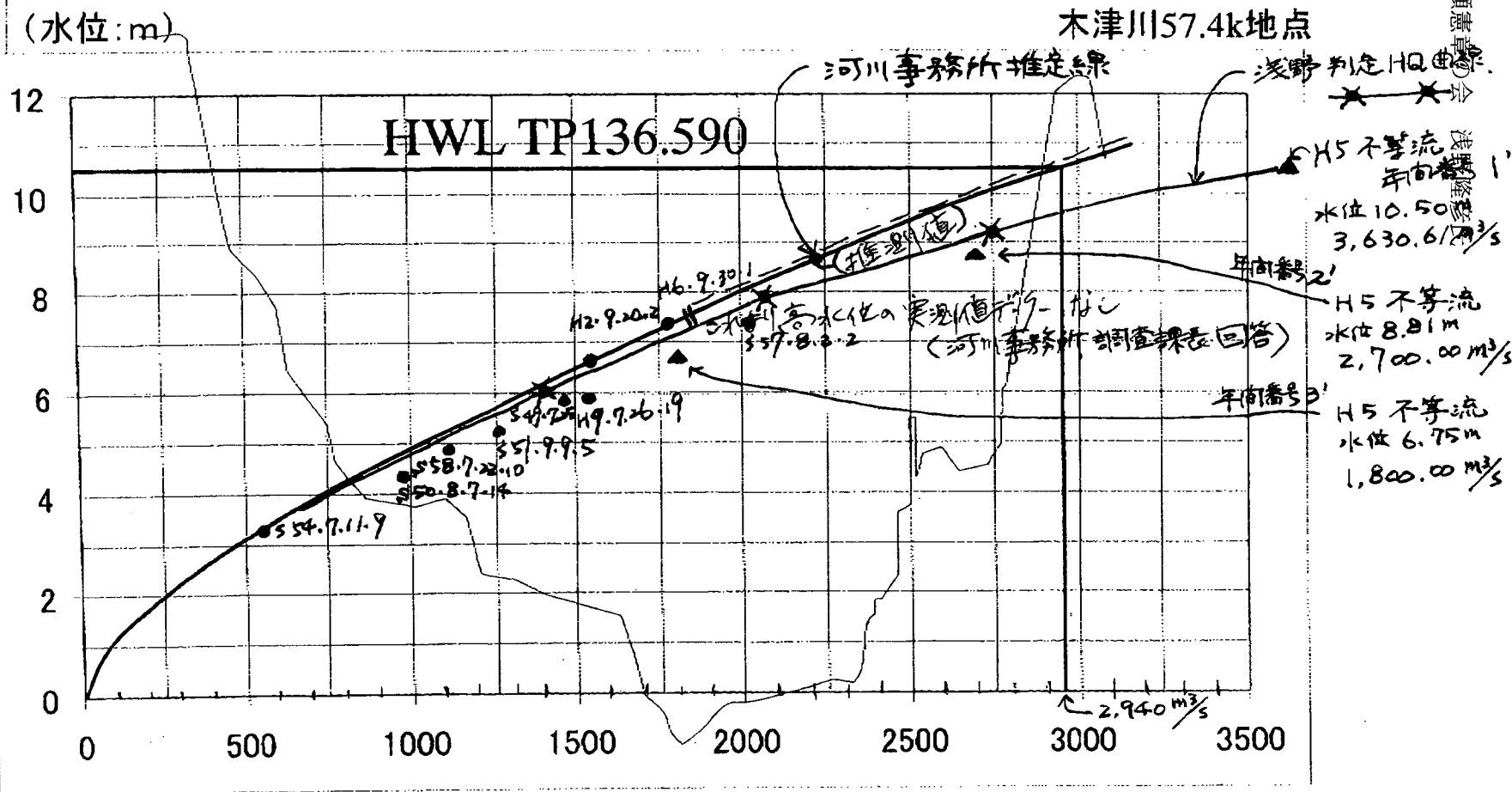


参考資料 A.

- 対流量高水位連続線
- - - 対流量低水位連続線
- ← ← ← 中間水位流量曲線判定線

平成 15 年 ▲ ① 水位 6.95m 流量 1,800 m³/s
 観測点計 ▲ ② " 8.81m " 2,700 m³/s
 (不等流計算) ▲ ③ " 10.50m " 3,630.61 m³/s

岩倉地点の水位流量曲線図



この図は、木津川57.4k地点(岩倉大橋直下流)にある岩倉流量観測地点における実測の水位と流量の関係を表しています。

縦軸が水位(H:m)、横軸が流量(Q:m³/s)を表しています。

参考資料 C

岩倉(57.4km)地点水位流量曲線図

• 流量観測値 — 水位流量曲線 — 横断

